CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)西鉄香椎照葉7丁目計画(住戸棟)

■使用評価マニュアル　CASBEE-建築(新築)2016年版
欄に数値またはコメントを記入　■評価ソフト:　CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						**3.6**
Q1 室内環境			0.40		-	**3.5**
1 音環境		**4.0**	0.15	**3.3**	1.00	**3.4**
1.1 室内騒音レベル		**3.0**	0.50	**3.0**	0.50	
1.2 遮音		**5.0**	0.50	**3.6**	0.50	
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能をT2としている。	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		**2.6**	0.35	**3.0**	1.00	**2.9**
2.1 室温制御		**3.0**	0.50	**3.0**	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		**1.0**	0.20	**-**	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		**3.3**	0.25	**3.7**	1.00	**3.6**
3.1 昼光利用		**4.2**	0.30	**4.6**	0.30	
1 昼光率	ラウンジ:5.4%、住居3.7%	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口	Gタイプ LD、南面・東面に窓有	-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		**3.0**	0.30	**4.0**	0.30	
1 昼光制御	庇(バルコニー)及びカーテン(カーテンボックス)による。	3.0	1.00	**4.0**	1.00	
3.3 照度		**3.0**	0.15	**3.0**	0.15	
3.4 照明制御		**3.0**	0.25	**3.0**	0.25	
4 空気質環境		**4.2**	0.25	**4.2**	1.00	**4.2**
4.1 発生源対策		**5.0**	0.60	**5.0**	0.63	
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		**3.0**	0.40	**3.0**	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO_2の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		–	0.30	-	-	**3.5**
1 機能性		**3.6**	0.40	**3.2**	1.00	**3.2**
1.1 機能性・使いやすさ		**3.0**	0.40	**3.0**	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		**4.0**	0.30	**3.5**	0.40	
1 広さ感・景観	住居・宿泊部の天井高2.5m	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画	パースによる事前検証を実施	4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		**4.0**	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	内装仕上げ:内壁面に防汚性の高い仕上げ方法や建材などを使	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	適正な点検口の設置など、該当する取り組みのうち7項目を実施	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		**3.9**	0.30	-	-	**3.9**
2.1 耐震・免震・制震・制振		**4.2**	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	免振装置を導入している。	5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		**4.0**	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	住宅の品質確保の促進に関する法律において等級3に該当する。	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	11年以上～20年未満である。	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ダクトの材質としてガルバリウム鋼板やVPを使用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管にSUS　排水管に耐火二層管を使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		**3.4**	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水器具採用　受水槽は2槽式かつ緊急時の蛇口付	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電機設置　UPS設置　電気室は2階	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.8	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり		-	-	4.6	0.50	
1 階高のゆとり	住居・宿泊部分：3.25m	3.0	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.1以上0.3未満としている。	3.0	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）		–	0.30	-	-	4.0
1 生物環境の保全と創出	外構緑化指数が50%以上である。	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮	植栽により良好な景観を形成している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮	公開空地を設けるなど、地域活動上のアメニティ活動に貢献してい	4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	公開空地を設けるなど、地域活動上のアメニティ活動に貢献してい	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	入が出入りできる屋上を設け、一部緑化している。	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	3.2
LR1 エネルギー		–	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]：　　－　　共用部【BEI】=0.93 住戸は仕様基準相当	3.1	0.50	-	-	3.1
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	－	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	－	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材を容易に分別可能としている。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		–	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO_2排出量は一般建物並み。	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	レインガーデンを計画している。	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な駐車スペース・駐輪スペースを確保している。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-		
3 日照阻害の抑制	日影規制に対して1ランク上の基準を満たしている。	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	